



# 学校だより

上越市立下黒川小学校

第7号

平成29年9月26日発行

<http://www.shimokuro.jorne.ed.jp/>



保育園児とペアをつくり、しっかりと手をつなぎ屋上へ。写真①②



## 地震・津波・原子力災害 ≪保小連携避難訓練≫

校長 岩下 伸子

9月1日(防災の日)に下黒川保育園と合同で避難訓練を実施しました。毎年、前年度の反省を生かし、「命を守る学習」として≪避難訓練≫を実施していますが、今年度の変更点は次の4点。

- (1) 地震により屋外避難の後、大津波警報発令による屋上避難(写真①②③)
- (2) 大地震・大津波による原子力災害発令後、屋内退避、屋上から3階PC室へ移動(写真④)
- (3) 柿崎区防災アドバイザー小関茂夫さんによる講評と職員への指導(写真③)
- (4) 学校運営協議会委員の参観と今後の避難訓練への助言

校舎は海拔11.8m。海岸からは約3.5km。上越市の津波ハザードマップでは津波の被害想定区域外。しかし、校区以外で地震や津波に遭遇するかも知れません。そんなとき、状況に応じて「率先避難者」であるためには想定外に対応した避難訓練が必要です。今回は、震度7の地震、津波、そして原子力災害を想定。文科省からの手引きや県の防災教育プログラム、市の避難計画などを参考に様々な場面を想定しながら計画を練り、真剣に訓練に臨むことが大切です。災害時、職員が出張等で欠けることもあり得ます。現在いる職員で最良の方法を考え、「子どもたちの命を守ること」が大切です。そして、子どもたち自身が「自分たちの命を守ること」を考えることが大切であると考えます。

保育園の子どもたちの手を引きながら屋上を目指した高学年児童。慌てず静かに避難した保育園の子どもたちも立派でした。小学生も立派でした。防災アドバイザーの小関さんや学校運営協議会長(後援会長)吉井さんからも「子どもたちの動きも、職員の動きも立派だった。整然としていた。素晴らしかった」と褒めていただきました。また、「農村公園や裏山は土砂崩れ等が心配。屋外へ避難するよりは、揺れが収まっている場合は、校舎が一番安全なのでは」という助言をいただきました。地域の皆様のアドバイスを基に、避難計画・防災計画の見直しを進めていきます。

前号の学校だよりは「第6号」でした。「第5号(8月30日号)」として配布・回覧してしまいました。失礼しました。



## 《まなびあう》学びを楽しむ子・・・達成目標と成果

- ① 「『知りたい』『調べたい』と進んで学習に取り組んだ」児童 85%以上 ⇒93%(保護者 72.6%)
- ② 「わくわく学習で地域や自然から学び、楽しく学習した」児童 85%以上⇒97%(保護者 92.8%)
- ③ 「授業が分かる」児童 90%以上⇒ 93%(保護者 88.1%)
- ④ 「分かったことを進んで伝えた」児童 85%以上⇒ 91%(保護者 73.8%)
- ⑤ 「進んで家庭学習に取り組んだ」児童 85%以上⇒ 83%(保護者 66.6%)
- ⑥ 「読書が好き・読書は好きな方だ」児童 85%以上⇒ 73%(保護者 64.3%)



★★

『知りたい』『調べたい』と進んで学習に取り組んだ児童、楽しく学習した児童、授業が分かると答えた児童は90%を超えていました。また、「分かったことを進んで伝えた」という児童も90%を超えました。

今年度は、自主的・主体的に学ぶ児童や進んで表現する児童の育成を目指して取り組んでいます。上記の結果からはその成果が表れていると考えます。しかし『家庭学習』や『読書』については目標に達しませんでした。学校での学びを確かなものにするためには、家庭学習で定着化を図ることが不可欠です。また、主体的に学ぶためには、疑問をもったり、予習したりしながら授業に臨むことも大切です。読書は読む力や書く力などを伸ばしてくれます。今年度は個人用読書ファイルを準備しました(卒業まで使います)。2学期には読書旬間も予定しています。楽しみながら読書量が増えるといいです。授業の中で分からなかったことが「分かった!」というときの子どもの目の輝きはとても素敵です! 学習は積み重ねが大切です。

保護者の皆様、是非、子どもたちのがんばりを褒めてあげてください。子どもたちはぐんぐん伸びます。

★★

『全国学力・学習状況調査』は平成26年度から今の形の悉皆調査となり、全国の小学校6年生、中学校3年生で実施しています。下黒川小学校6年生は、国語・算数ともにA問題(主として「知識」に関する問題)、B問題(主として「活用」に関する問題)ともに平成26年度から全国・県平均を上回っています。今年度もすべてにおいて全国・県平均を上回りました。それは、「分かる授業」を行おうと教師が「授業づくり」を工夫していること、子どもたちが授業の中で一生懸命考え、友達と共に学び合い・伝え合っていること、そして、柿崎中学校区全体でTKB(テレビを消して勉強しよう)旬間に取り組んでいることの結果だと考えます(保護者の皆様のご協力に感謝します)。『全国学力・学習状況調査』では国語算数のテストのほかに、早寝早起きや朝食を毎日食べる、地域行事に参加する、ボランティア活動に参加する、読書をする、新聞を読む、予習や復習をする、家庭学習をする等の児童質問紙や学校での取組を調査する学校質問紙もあります。そして、それらのアンケート内容と学力の相関関係などを分析し、公表しています。来年度は理科のテストも実施される年です(3年に1回)。授業づくりの工夫や望ましい学習習慣や生活習慣などの形成が学力の向上に重要とされています。平成32年度の新学習指導要領では《学びに向かう力》も新しい学力と考えられています。全国学力学習状況調査の問題や結果、新学習指導要領の内容等は文科省のHPや国立教育政策研究所のHPからも閲覧できます。1~5年生も6年生になったら「こんなテストをするんだね」と親子で挑戦してみても良いかもしれませんね。

## 8月31日(木)第2回学校運営協議会を開催しました。

5時間目の学習参観後、1学期の学校評価を基に協議していただきました。

### 《夏休みの様子より》

- \* 「柿崎時代夏まつり」での金管演奏が素晴らしかった。公民館から出てくるところから素晴らしかった。感動した。祭りを盛り上げていた。先生方の連携プレー、チーム力がきめ細やかだった。周囲の方々からも下黒川小学校の子どもたちががんばっていると褒めていただいた。
- \* 「黒岩黒川ふれあい祭り」では、3つの班がダンスを披露してくれて祭りを盛り上げていた。昨年に増して大勢の方が参加していた。6年生の心太やポップコーンの販売も良かった。地域の方とふれあうことができた。積極的に声を掛け、売り歩く姿があった。完売していた。

### 《かかわりあい…心部会》

- ※地域の方も子どもたちとかかわり合いをもちたいと思っている。空き缶つぶしやいろいろな活動でボランティアを呼びかけたらよい。町内会長や老人クラブ会長と連絡を取っていくと良い。
- ※挨拶や返事、「さん付け」がなぜ大事なのか、その意義などを学校だより等で知らせていくと良い。

### 《まなびあい…まなび部会》

- ※下黒川・黒川の地域教材のよさを学び、文化祭で発表する。学校運営協議会の話し合いでアイデアをもらい、核となる活動が決まっているので行いやすい。学んだことを発信していく。
- ※今年度から学期ごとの「国語(漢字)テスト・算数(計算)テスト」を実施。合格するまで行い、定着を図る。
- ※自主的・計画的に学習に取り組めるようにしていく。習い事などで忙しい児童もいる。家庭学習の時間が1週間で目標が達成できるように指導していく。また、本を借りる機会(時間)を設定していく。

### 《きたえあい…からだ部会》

- ※休み時間を大切に、思い切り体を動かすことが大事。スクールバス通学であり、歩く機会がない。
- ※アウトメディアについて中学校からでは遅い。小学校の低学年、保育園からの保護者の働きかけが重要。生徒だけでは解決できない問題がたくさん出ている。保護者の意識・危機感が大事。



## 《柿崎総ぐるみあいさつ1000人大運動》



9月12日(火)～15日(金)まで「柿崎総ぐるみあいさつ1000人大運動」が実施されました。各町内会長様はじめ町内の皆様、青少年育成会議の皆様、PTA役員の皆様、下黒川小学校を卒業した柿崎中学校の皆様、3名の上教大実習生が児童玄関前に立ってくださいました。登校してきた子どもたちは、少し照れながらも「おはようございます」とあいさつをしていました。ランドセルを置くと、青い手袋をして玄関に立ち、元気いっぱい友達を迎えました。「あいさつ1000人大運動」は大成功！



運動期間中のみではなく、運動後も、学校や地域であいさつの輪が広がるといいですね。保護者の皆様、地域の皆様、引き続き是非子どもたちに「おはよう！」と声掛けをお願いいたします。

## 上越市親善陸上大会



9月20日(水)新しくなった上越市陸上競技場で『上越市小学校親善陸上大会』が開催されました。6年生14名、5年生15名が全員参加しました。今年度は選手宣誓の当番校でした。朝6時30分に学校集合し、陸上競技場を目指しました。新しいブルーのトラック。代表児童の選手宣誓も大きな声で、堂々と立派でした。大きな拍手とともにたくさんの校長先生方からお褒めの言葉を頂戴しました。

自己ベストもたくさん更新され、子どもたちは充実した1日を過ごしてきました。残念ながら地区陸上大会へは出場できませんが、5年生は来年度の大会へと意欲を燃やし、翌日から練習を始めている子

もいます。「ガンバレ！ガンバレ！下小！」負けん気と闘志は大切ですね。

## 福祉委員会発表「大成功！」

「第4回柿崎の宝を育てるみんなの集い」が9月23日(土)柿崎コミュニティプラザで行われました。福祉委員会6名の児童が、《アルミ缶活動》と《よねやまの里の皆さんとの交流》について発表しました。簡単な劇を取り入れながら分かりやすく、26年以上も続いているアルミ缶活動やよねやまの里との交流活動について説明し、「福祉活動を通じて思いやりの心が育っています。この伝統がずっと続くといいです」とまとめていました。



「文化祭のしおり」を回覧、「しあわせタイムの案内」を全戸配布いたします。子どもたちも張り切って準備をしています。皆様のご来校をお待ちしています。よろしくお願いいたします。